

筋肉	作用	起始部 & 付着点	支配神経
Stylohyoid muscle 茎突舌骨筋	舌骨の挙上 突舌骨筋は、嚥下時に舌骨を後上方に低さように働く。	起始部: 側頭骨の茎状突起の基部後面から起こり、顎二腹筋の後腹の上を斜めに前下方 付着点: 舌顎二腹筋の中間腱の内側から舌骨大角の基部に付着	顔面神経
Medial pterygoid muscle 内側翼突筋 (ないそくよくとつきん)	①下顎骨を挙上して歯を噛み合わせる ②食べたものをすり潰す働き 外側翼突筋の補助	起始部: 蝶形骨の翼状突起後面の翼突窩外側板 前筋の下内側で翼状突起後面の翼突窩と、これに接する上顎骨の一部と翼状突起外側板の下端から起こります。筋の走行としては後外方に走ります。 付着点: 下顎角内面の翼突筋粗面	三叉神経下顎枝(V3)の枝
Lateral pterygoid muscle 外側翼突筋 (がいそくよくとつきん)	咀嚼筋の中で唯一、開口させる筋。 ①下顎頭を前方に引く ②片側が働けば、下顎骨の前部は対側に動く ③両側が働けば下顎骨全体が前方に動き、あるいは両側の下顎頭が前方に動いて開口する	起始部: 上部: 上部は側頭下稜から起こります(蝶形骨大翼) 下部: 下部は翼状突起外側板から起こります 筋の走行はほぼ水平に後外方に向かって集まります。 付着点: 上部: 顎関節円板ないし関節包 下部: 下顎骨の関節突起	
Sternohyoid muscle 胸骨舌骨筋	舌骨の下制作用 舌骨を固定	起始部: 胸骨柄、胸鎖関節第一肋軟骨後面 帯状で胸骨柄、胸鎖関節包、鎖骨の後面から起こり上方に向かう。第1肋骨からも起こることがあります 付着点: 舌骨体の内側部下縁	頸神経ワナ(c1~c4) 舌下神経からワナの上根を 通って来る繊維はC1,C2から舌下神経根に加わったもの
Levator scapulae 肩甲挙筋 (けんこうきょきん)	肩甲骨を引き上げ	起始部: C1~C4頸椎の横突起に付着 付着点: 肩甲骨の上角、内側縁の上部1/3	頸神経叢の枝と肩甲背神経C2~C5
supraspinatus muscle 棘上筋	肩の外転	起始部: 棘下窩と棘下筋膜の内面から起こり、筋束は三角形に集中して外方に向かいます 付着点: 上腕骨大結節中部、短い腱は肩関節包の後面に癒着して、上腕骨大結節の後縁に停止します	肩甲上神経(C5・C6)